

民間事業者の商品・サービスに関するアンケート調査結果（概要）

平成 29 年 8 月

1. アンケート調査の概要

(1) 趣旨

「高校生のための学びの基礎診断」の仕組みの構築に係る更なる検討の参考とするため、高校生の基礎学力の向上等を目的として民間事業者が提供している商品・サービスに関する情報を収集する。

(2) 実施期間

平成 29 年 7 月 5 日（水）～7 月 21 日（金）

(3) 対象者

「高等学校基礎学力テスト（仮称）」に係る民間事業者等説明会（平成 27 年 12 月 7 日、平成 28 年 4 月 22 日）、「高校生のための学びの基礎診断（仮称）」に係る民間事業者等説明会（平成 29 年 5 月 30 日）に参加した民間事業者

(4) 主なアンケート項目

- 商品・サービスのコンセプト
- 出題に関すること（学習指導要領への対応、義務教育段階での学習内容からの出題、解答方式、解答時間等）
- 結果提供に関すること（生徒向け・教員向け提供物（返却物・結果提供の内容）等）
- 実施に関すること（実施方式（PBT, CBT）、年間実施回数等）

2. アンケート調査結果のポイント

本アンケート調査において、民間事業者 18 機関より 48 の商品・サービスについて回答を得た。結果のポイントは下記のとおり（結果の詳細は資料 3 参照）。

○記述式問題を設けている商品・サービスが相当数見られるが、

- ・国語について、漢字の読み書きを答えるものや、問題文中から該当する語句・文章を抜き出すもの、問題文中の記載に関する理由を一定字数以内で記述するもの
- ・数学について、解答のみ記述するものや、解法の過程も含めて記述するもの
- ・英語について、英語の設問に対し答えを英単語で記述するものや、英文和訳・和文英訳、英文で自分の考えとその理由を記述するもの

など様々な形態が存在。記述式問題でも回答の自由度が低いもののみを出題するものも見られた。

○3 教科セットまたは 5 教科セットの商品・サービスについては、英語 4 技能全てを測定するものは少数。

○結果については、各商品・サービスのコンセプトに基づき、生徒及び教員に対し様々な情報が提供（生徒向け：結果の段階表示、アドバイス、成績推移、志望校判定等。教員向け：個人・クラス別・学年別の分析結果、教科別分析結果等）。また、事前教材や事後教材がセットとなっている商品・サービスも多数存在。

○学校で試験運営を行っている商品・サービスが多数。学校でも CBT 方式で実施できる商品・サービスも存在するが、PBT 方式が大半。